

# 技術士 2次試験に合格して



**定免 純司**  
(じょうめん じゅんじ)

## 勤務先

株式会社 ハーティブ企画

技術部

〒060-0002 札幌市中央区北2条西3丁目1-29 タケサトビル701

TEL 011-596-8350 FAX 011-596-8351

E-mail jj-heartib@pure.ocn.ne.jp

■ 専門：建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)

## 1. はじめに

私は、1991年(平成3年)に札幌市で生まれ、豊かな自然に囲まれた同市南区で育ちました。高校は市内の商業高校に進学し、会計、情報処理などについて学びました。高校卒業後は、縁あって土木設計を行う会社に就職し、その後建設コンサルタントである現在の職場に転職し、主に河川構造物の設計を担当しています。

このようにまわりの土木技術者と比べると少し異質な経歴ですが、同じ様に畑違いの分野に身を置く方々の参考になればと思い、今回の執筆をお引き受け致しました。

## 2. 受験の動機

上述した様に、土木について専門的に学んできたわけではないため、自身のスキルアップとともに業務を行う上での信頼関係をいち早く築くためのツールとして、国家資格である技術士は大いに役立つと考え、技術士取得を目標の一つとしました。

しかし一次試験は共通科目(数学・物理学・地学等)の試験があり、二の足を踏んでいましたが、知らぬ間に試験方法変更で廃止となっていたため、平成28年度から受験する事にしました。

まずは目標として、20代の内に技術士取得!...では自身の性格上長期化してしまう事が目に見えていたので、それに加え、一次・二次試験共に1度の受験での合格も目標に掲げ、短期決戦で試験に臨む事を当面の目標としました。

## 3. 一次試験

受験した建設部門では、都市計画、空港、河川、道路など多岐にわたる試験範囲で、四苦八苦したのを記憶しています。4~5年分の過去問を解き、正答以外の選択肢についても内容を理解するように学習し、なんとか合格にこぎつける事が出来ました。

## 4. 二次試験

受験資格を得た平成30年度からの受験となりましたが、対策に充てる時間の確保が課題でした。ただ忙しいからと言い訳する事なく、通勤時の地下鉄内や昼休みといった隙間時間の活用、仕事で午前様となった日でも帰宅後に学習が継続出来た事は、我ながら良くやったと思っています。また意欲が低下した時は、ネットで合格体験記を読み「自分なら出来る」と自己暗示していました。

択一試験の対策としては、過去問をスマホのテスト勉強用アプリに入れいつでも解いていました。記述試験については、キーワード学習を中心に国交省や専門誌の記事を読み漁り知識を広げました。

記述試験時には途中で諦めかけましたが、「諦めたらそこで試合終了」という某漫画のセリフが頭をよぎり、埋めるだけ埋めようと気持ちを切替え、無事に口頭試験への切符をたぐり寄せる事が出来ました。

口頭試験は業務経歴を中心に問われましたが、模擬面接を5回行ってた為、緊張する事なく臨む事が出来、結果として無事に合格の通知を頂き、当初の目標も達成する事が出来ました。

## 5. おわりに

本稿を書いている今年ちょうど元号が変わり、令和元年となった年です。平成の時代に生まれ、平成の内に技術士を取得出来た事は、一つの区切りとしてちょうど良かったと思っています。

今年度からは技術士1年生として、令和の時代とともに年を重ね、技術士としての自覚とプライド、そして謙虚さを持って研鑽に努め、社会に貢献していければと思っています。

最後になりますが、今回の受験に際しご協力頂いた職場の皆様、また会社の垣根を越えて指導して下さいました先輩技術士の方々には、心より感謝致します。